

(別紙8)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年2月6日

【評価実施概要】

事業所番号	0171401763
法人名	医療法人社団 向仁会
事業所名	グループホーム よろこびの家 日吉
所在地	北海道函館市日吉町3丁目20番25号 (電話) 0138-33-0505

評価機関名	タンジント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年2月6日	評価確定日	平成20年2月7日

【情報提供票より】(平成20年1月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年3月8日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16人	常勤	16人, 非常勤 人, 常勤換算 14.66人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	43,000円	その他の経費(月額)	25,000~35,000円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	250円	昼食	400円
	夕食	400円	おやつ	180円
または1日当たり		1,330円		

(4) 利用者の概要(1月15日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	4名	要介護2	4名		
要介護3	4名	要介護4	4名		
要介護5	2名	要支援2			
年齢	平均 82.83歳	最低	66歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	函館ベイサイド病院(内科・整形外科・外科)・函館中央病院(内科) 函館協会病院(歯科)・さこ歯科クリニック・藤岡眼科病院
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

函館の東部地区に位置する閑静な住宅地の中にあるこのグループホームは敷地が広く、畑や芝生が作られ畑ではジャガイモ、ほうれん草、なす、トマト、きゅうり等を栽培し、芝生では、焼き肉や流しそうめんを催し、楽しく食事が取れるような工夫をしています。ホーム内の居間、廊下、居室は広く、ゆったりとしており、居室は家族が無理なく泊まれるスペースが確保され、畳のある和室では家族がお茶を立てたり利用者が横になるなどしてリラックス出来るような空間になっています。また、1階、2階の浴室の大きさが違い1階の浴槽には、身体機能が低下し入浴が困難になった場合でも寝たまま入浴できるような特殊浴の設備もされています。管理者はユニット名に「長寿」を意味する松、柏として各居室も縁起のいい花言葉を元に「樺」「蓬」「福寿草」等の名前を付け、利用者と職員が自由を掲げ安心を土台として地域を含めた全員が笑顔を中心とした生活がおくれるようにとの思いを理念としてケアサービスの質の向上に取り組んでいます。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回外部評価では、苦情、相談受付の文書の掲示はされているが、窓口や担当者が明確化されていない点が課題でしたが、早急に玄関に苦情処理担当責任者の掲示と担当者会議、家族訪問時の意見の聴取などに取り組み改善されています。
	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、職員全員で行い、各ユニットの管理者がまとめて作成しています。又、前回、外部評価での指摘された改善点についても、即座に改善を行い、運営推進会議で発表し関係者や家族に確認して貰っています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在8回実施され、市担当者及び包括支援センターの職員も参加して行われ議事録も函館市に報告されています。議題についてはグループホームについて 運営推進会議の今後の進め方(地域との連携について) 行事報告と予定(夏祭り、敬老会など) 事故防止の取組み方(ヒヤリ・ハットでの事故の未然防止と事故防止対策委員会の活動内容について) 防災についての防災講(消防署職員より)
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 毎月、請求書の郵送の際に預かり金出納帳と領収書のコピーを添付し、定期的に残高も確認して貰っており、季節ごとに「よろこびだより」を発行し利用者の日常の様子や健康状態、職員の紹介、運営推進会議の内容などそれぞれの家族にこまめに情報提供しています。苦情窓口の担当者を設け、重要事項の記載や玄関に担当者名を掲示し、家族から苦情や意見があれば、すぐにスタッフ会議を開き情報を共有し、苦情の原因追及や改善策を話し合うように努めています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会との懇親会や日帰り旅行、中学校のハンドベル部の演奏会をホーム内で開催したり、幼稚園の運動会には、利用者・職員が交流を積極的に行われています。また、ホーム主催の夏祭りでは、町内会や近隣住民、家族や他施設の職員・利用者、「みそぎ太鼓」の子供達など多数の人達が参加して地域との交流に努めています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「よろこびの家日吉理念5カ条」から職員全員からアンケートを取り、『自由・笑顔・安心』を理念として、入居者・職員双方の『自由』を掲げ、家族・地域への『安心』を土台にし、全員が『笑顔』で過ごせるようにとの思いを理念にして作りあげられている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をホームに掲示し、毎朝、朝礼時に唱和し、三つの理念の中からその日の目標の一つを選びそれを実践出来るように取り組み、職員全員がその日の反省点を次回に活かせるように努めている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会との懇親会や日帰り旅行、中学校のハンドベル部の演奏会をホーム内で開催したり、幼稚園の運動会には、利用者・職員が招待されている。ホーム主催の夏祭りでは、積極的に参加を呼びかけ、多数の地域の人に参加し近隣地域との交流を図っている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、職員全員で行い、各ユニットの管理者がまとめて作成している。又、前回、外部評価での指摘された改善点についても、即座に改善を行い、運営推進会議で発表し関係者や家族にも確認してもらっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在8回開催されている。メンバーは利用者の家族、町内会の会長、副会長、地域の住民代表、保健所職員、包括支援センター職員、管理者・職員で構成され、グループホームについて、運営推進会議の今後の進め方、行事報告と予定、事故防止の取り組み方など話し合われている。</p>		<p>運営推進会議の取り組みは非常に良く、議事録も市に報告され特筆すべき点である。今後は、委員が積極的に参加が出来るような議題の工夫と行政及び包括支援センターと連携した研修会や講習会開催など地域の人達に認知症に対する広報にもさらに取り組む事も検討してみても如何か。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議以外にも市が主催する勉強会への参加や日常的に連携に努めている。また、研修会参加者による報告会を開催してフォローアップされ、日々サービスの向上に努めている。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、請求書の郵送の際に預かり金出納帳と領収書のコピーを添付し、定期的に残高も確認して貰っている。また、季節ごとに発行している「よろこびだより」で利用者の日常の様子や健康状態、スタッフの紹介、運営推進会議の内容などそれぞれの家族にこまめに情報提供している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情窓口の担当者を設けており、重要事項については記載されており、玄関にも担当者名を掲示している。家族から苦情や意見があれば、すぐにスタッフ会議を開き情報を共有し、苦情の原因追及や改善策を話し合うように努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員同士のコミュニケーションを積極的に図り、職員の仕事での悩みなどにもっと関わりを持つ事で離職を必要最小限に抑える努力をし、やむを得ない場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮を心掛けている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は、管理者や職員に外部研修参加を積極的に奨励している。また、毎月の全体会議や毎日の申送りなどでの勉強会も実施され職員を育てる取り組みが図られている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会における研修や勉強会への参加を奨励しており、隔月に行われるケアプラン勉強会、近隣地域他グループホームとの交流を図りサービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族と協力を得ながら、環境の変化に不安を持たずに新しい生活に馴染めるように使い慣れた馴染みの物を持参していただくなどの雰囲気づくりに努めている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日々、生活する中で共に食事の盛り付け、食器拭き、掃除等を行っており、又、家族として一緒に暮らすことをイメージし、お互いに支えあう生活を築いて行けるように心掛けており、利用者が過ごしやすい環境になるように努めている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p><b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1. 一人ひとりの把握</b></p>					
14	33	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの思いを大切にし、編み物、折り紙など散歩や買い物、趣味への支援や食事の準備、食の嗜好の把握などドライブなど外出の機会を多く作ったりして本人の希望や意向を尊重した取り組みが行われている。</p>		
<p><b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、利用者、家族、主治医、医療連携の看護師など関わる方全員から情報収集し職員からの意見を取り入れ介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書は、介護支援専門員を中心に、モニタリング、カンファレンスを行い、3ヶ月に一度、見直しを行い、身心の状況の変化や環境の変化があった場合には本人、家族、関係者と話し合い、現状に即した計画を作成している。</p>		
<p><b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況に応じて、通院の支援や散歩や買い物、ドライブ等、希望に応じ、内科医や歯科医の往診も要望に応じて柔軟に支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	母体医療法人や利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、「看取り指針」が明確となっており、職員間で共有されている。医療機関と連携して早い段階から利用者・家族とも段階的に繰り返し相談が行われている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりのプライバシーやプライドを損ねないように、職員へは、常に利用者の尊厳を大事にする事や人生の先輩として尊敬した言葉かけや対応を心掛けている。又、個人情報の取り扱いや記録などにも注意をしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自由な時間の中で気の合う同士で話したり、居室で一人で過したり、時には職員も交えて思い出話や、世間話をしたりと一人ひとりのペースで過されている。また入浴や食事も、その日の気分でその方のペースで行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者の嗜好や希望を取り入れ、旬のものや節句などの年間行事に合わせて、季節感を出すように献立作りを行っている。食事の準備や後片付けは、利用者と職員がみんな関わっているという一体感を持てるように心掛けている。又、気分転換の為、敷地内の芝生で焼き肉や流しそうめんを行うなど工夫もしている。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週最低2回の入浴を基本に利用者の希望に応じていつでも入浴できるように支援している。又、1階、2階の浴室の大きさが違い1階の浴槽には、身体機能が低下し入浴が困難になった場合でも寝たままで入浴できるような特殊浴の設備もされています。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>一人ひとりの生活歴を把握して、編み物、折り紙、刺繍の趣味や畑作りやユニット間の新聞配達、掃除、食事の準備などの役割や買い物や散歩、気分転換のための大沼公園やトラピスチヌへのドライブなど外出の機会を多く作るように努めている。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>スーパーやコンビニでの買い物、空港見学、ワイン工場や函館牛乳の見学、町内会との温泉入浴や近隣観光地巡りのドライブなど気分転換ができるように積極的に外出ができるように支援されている。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、夜間の防犯を目的とした施錠以外は鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防火管理者が配置され、火災避難訓練が年2回実施されています。緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように努めている。</p>		<p>今後は、近隣の住民との協力関係をさらに進めて、火災避難訓練の参加を促すなど日頃より働きかけを行い災害時に協力いただけるような取り組みも検討されている。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な食事摂取量・水分摂取量が記録され、申し送り等で職員全員に把握されている。又、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握されている。</p>		<p>今後は、栄養バランスやカロリー摂取について運営推進会議などで、市の保健師の協力を得て講習会の開催などが計画されている。</p>
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホーム内の居間、廊下、居室は広く、ゆったりとしており、居室は家族が無理なく泊まれるスペースが確保され、畳のある和室で家族がお茶を立てたり利用者が横になるなどしてリラックス出来るような空間になっています。ホームは敷地に畑や芝生のスペースがあり、畑ではジャガイモ、ほうれん草、なす、トマト、きゅうり等を栽培し、芝生では、焼き肉や流しそうめんなどを催し楽しく食事が取れるような工夫をしている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は広く、家族がゆったりと泊まれるスペースが確保されています。又、仏壇や使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっていて一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。